

### クラス幹事から同窓委員に代わります

執行役員 企画 G 松本 正和（昭和 45 年応化卒）

国大化学会は 2 期目の後半に入り、学生支援、OB と語る会、大学のサポート等に、その活動をますます活発にできております。

しかし 7,000 名を越える卒業生のうち、会誌の届くのは 4,000 名強と、基盤となる卒業生の連絡網はかなり脆弱化してきております。

その原因の一つは、応化会、電化・材化会の核となっていたクラス幹事の方々の高齢化と昭和晩年からのクラス活動自体の低落傾向にあります。またもう一つは、平成以降の学科改変と若者気質の変貌による同窓会離れの促進にあります。特に後者では、クラス幹事は存在せず、同窓会そのものを知らない学生も多数にのぼり、その卒業生は実質各研究室任せで、同窓会、大学でも十分把握しきれていないのが現状です。

我々はこうした現状を改善し、会の基盤である連絡網を再構築すべく、クラス幹事に代わる同窓委員を中核とする体制を新設することに決定いたしました。会則にも記載されているクラス幹事を公的には廃止し、代りに各年度、各研究室、その他必要に応じて各クラブ、可能な企業等のグループから同窓委員を選出し、当面は一部にダブリは出ても抜けのない、同窓委員を中心とする連絡網を確立するというものであります。

選定活動は既に実働中で、旧応化会、旧電化・材化会のクラス幹事の方を中心に既に 80 名を越える方々からご同意をいただき、同窓委員とさせていただきます。一方、研究室別にも主に現旧教官の方々にお願いし、その研究室（先代、先々代含めて）の新旧の卒業生の情報を把握する核となる人を同窓委員に推薦していただく動きを進めております。こちらはまだまだ手始めですが、10 に近い研究室から推薦をいただいております。いずれは大学の公的機関を通して正式にお願いしたいと思っております。

会員の皆様におかれましても、自薦他薦を問わず、年度別、研究室別、その他のグループ別に、特

に未定の年度（後述）において、これはと思う方を推薦していただければ誠に幸いです。その際は事務局を経て松本までご連絡のほど宜しく願います。

同窓委員の役割は、

- 1) クラス、グループの要としての日常の交流、連絡。
- 2) 所在不明者の掘起しをメンバー等に働きかけていただくこと。
- 3) クラス、グループ内の情報・動向の同窓会への連絡。
- 4) 会誌、名簿、HP の監視役又は意見収集係、投稿促進係。
- 3) クラス、グループと同窓会の相互連絡の中心役
- 4) 同窓委員会（1 年に 1 度位の予定）への参加。
- 5) ご希望次第で同窓会活動への参加。

等をお願いしたいと思っております。これ以外に役員会等でイベント、キャンペーンへのお手伝い等のお願いも出てくるかと思いますが、基本的には仲間内の活動をメインにし、後は軽くお手伝いいただく程度にしたいと考えております。

同窓委員による連絡網の整備は、第 2 期の残り期間で年度別はほぼ終了させるつもりであります。研究室別、グループ別はしばらく継続的に続けていく必要があると思われま。会員皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

同窓委員未定の年度を以下に示しました。ご参考下さい。

- 応 化：昭和 32, 36, 37, 38, 43, 44, 48, 50, 51, 52, 53, 55, 56, 57, 59, 60, 61, 平成 1  
応化 2 部：昭和 30, 31, 39, 47, 48, 49, 51, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 61, 63, 平成 1  
電化・材化：昭和 29, 39, 44, 46, 49, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 平成 1